

シラバス

教科【 国語 】 科目【 言語文化 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
国語	言語文化	3	2	普通	必履	新編言語文化(数研出版)

1 学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識・技能を養い、確かな国語力を育成する。また、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めるとともに、文化の担い手としての自覚を養うことを目標とする。そのために確かな文章の創作力や確かな読解力の育成を実践することで目標達成を目指す。

2 学習評価規準

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使って我が国の言語文化に対する理解を深めようとしているか。
思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけ、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。
主体的に学習に取り組む態度	言葉の持つ価値への認識を深めようとするとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしているか。また、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしているか。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	地域の「ことば」 ズームアップ	「とんかつ」 三浦哲郎 日本語を彩る地域のことば	
	古文の世界を楽しむ 古典への招待1 作品解説・ズームアップ	言語文化と古文・古文に親しもう 説話集を読む楽しみ 「児のそら寝」 宇治拾遺物語・古語と現代語	
	文体の魅力	「名人伝」 中島敦	
	「ことば」を吟味する ズームアップ	「舟を編む」 三浦しをん 辞典？事典？字典？辞書？	
	日本語のなかに生きる漢文 古典への招待4 故事成語	訓読のきまり、格言・訓読の基本 故事成語を学ぶ 加藤徹 「助長」・「漁夫の利」・「虎の威を借る狐」・「管鮑の交わり」	
	古典への招待2 現代にも生きる教え	「ジョブズと『徒然草』」 嵐山光三郎 『徒然草』「高名の木登り」・「ある人、弓射ることを習ふに」	
後期	受け継がれる古典 古典への招待3 現代にも生きる教え	「羅生門」 芥川龍之介 「とりあえず、男がいた」 俵万智・ 『伊勢物語』 「芥川」・「筒井筒」	
	語感を磨く 探究の扉	「側転と三夏」 武田綾乃 「春や春」	
	記録する文学	「沖縄の手記から」 田宮虎彦	
	詩歌を味わう ズームアップ	短歌・俳句 詩歌の魅力	
	「ことば」の力 ズームアップ	「葉桜と魔笛」 太宰治 言葉で伝える、心を届ける	
	漢詩を味わう 故事成語	中国の漢詩 「春暁」「江雪」「涼州詞」「山行」「春望」 日本の漢詩 「富士山」「春日偶成」	
	先人を思う旅	『おくのほそ道』 「平泉」	

4 学習の留意点

・授業態度、発表、提出物、小テスト、定期考査の成績等、総合的に評価する。

令和7年度 シラバス

教科【 公民 】 科目【 公共 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
公民	公共	2	2	普通科、 機械科、電気科	必修	詳述 公共 (実教出版)

1 目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 評価の観点

知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	より良い社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	第1章 私たちの生きる社会	・世界の様々な諸課題について考察する。 ・人生の中で、青年期はどのような意味を持つのか考察し、青年期における様々な悩みと、それを克服するにはどうすればよいかについて考察する。	
	第2章 現代の民主政治	・私たちの生活と政治や国家の関わりについて関心を高め、国家は、どのような考え方を背景につくられたのかについて考察する。	
後期	第3章 現代の経済社会	・私たちの生活と密接に関わる経済の基本的な仕組みを理解し、資本主義経済の特質について考察する。 ・政府や中央銀行の経済的役割について考察する。	
	第4章 民主社会に生きる倫理	・他人を大切にしながら、人生を豊かに生きるためにはどうすればよいかについて考察する。	

4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、前期中間考査、前期期末考査、後期中間考査、学年末考査を基に総合的に評価する。

令和7年度 シラバス 教科【 数学 】 科目【 数学A 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
数学	数学A	2	2	普通	選択	新 高校の数学A(数研出版)

1 目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点

知識・技能	- 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 - 数学と人間活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。
思考・判断・表現	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数学的に考察する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	- 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしていたりしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	場合の数と確率	- 場合の数 - 確率	
後期	図形の性質	- 平面図形 - 空間図形	

4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、前期中間考査、前期期末考査、後期中間考査、学年末考査を基に総合的に評価する。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書（出版社）
理科	化学基礎	2	2	普通	必履修	高等学校 新化学基礎(第一学習社)

1 目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 評価の観点

知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
主体的に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	○物質の構成	・混合物から純物質を分離したり精製したりする実験などを行い、実験における基本操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 ・物質を構成する各元素について学ぶ。 ・原子の構造や性質について学ぶ。 ・イオンとは何かについて学び、どのようにしたら発生するかについて学ぶ。 ・粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係により、物質の状態変化が起こることを理解する。 ・元素の周期律および原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 ・イオン結合、共有結合、金属結合について理解する。	
後期	○物質の変化	・粒子の数にもとづく量の表し方である物質量の概念を導入し、物質量と質量、物質量と気体の体積との関係について理解する。 ・化学反応式の書き方について学ぶ。 ・水溶液の濃度について学ぶ。 ・酸と塩基について学ぶ。 ・酸化・還元反応について学び、電池の原理について理解を深める。	

4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、実験レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、定期考査を基に総合的に評価する。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
体育	体育	3	2	普通	必修	現代高等保健体育(大修館)

1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	体づくり運動	● 体づくり運動(体ほぐしの運動 / 実生活に生かす運動の計画) ※ 新体力テストを含む	
	選択Ⅰ	● 選択Ⅰ(球技:バドミントン) ※ 球技(ネット型)	
	選択Ⅱ	● 選択Ⅱ(陸上) ※ 陸上(持久走)	
	体育理論	● 運動・スポーツの学び方 ①スポーツにおける技能と体力 ②スポーツにおける技術と戦術 ③技能の上達過程と練習	
後期	選択球技Ⅲ	● 選択Ⅲ(球技:ミニバレーボール) ※ 球技(ネット型)	
	選択球技Ⅳ	● 選択Ⅳ(球技:卓球・フットベースボール) ※ 球技(ネット型・ベース型)	
	体育理論	● 運動・スポーツの学び方 ④効果的な動きのメカニズム ⑤体カトレーニング ⑥運動やスポーツでの安全の確保	

4 学習の留意点

授業観察、ノート・ワークシート、課題レポート、小テスト、単元テスト、考査等を基に総合的に評価する。

令和7年度 シラバス

教科【 保健 】 科目【 保健 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
保健	保健	1	2	全学科	必履修	現代高等保健体育(大修館)

1 目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点

知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	3単元 生涯を通じる健康	1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	
後期	4単元 健康を支える環境づくり	* 1 大気汚染と健康 * 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 * 3 環境と健康にかかわる対策 * 4 ごみの処理と上下水道の整備 * 5 食品の安全性 * 6 食品衛生にかかわる活動 * 7 保健サービスとその活用 * 8 医療サービスとその活用 * 9 医薬品の制度とその活用 * 10 さまざまな保健活動や社会的対策 * 11 健康に関する環境づくりと社会参加	

4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、前期期末考査、学年末考査を基に総合的に評価する。

教科	科目	単位数	学年	コース	区分	使用教科書（出版社）
外国語	英語コミュニケーションⅡ	2	2	普通	必修	All Aboard! English CommunicationⅡ（東京書籍）

1 学習目標

1. 日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。
2. 日常的な話題について、英語で聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。

2 学習評価基準

知識・技能	外国語の音声や語彙・表現・文法・言語の働きなどについて理解を深め、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に使用できる技能を身につけている。
思考・判断・表現	目的や場面、状況に応じて、日常的・社会的な話題について、外国語で概念や要点を理解できる。話し手や書き手の意図を理解でき、また適切に表現できる。
主体的に学習に取り組む態度	文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
通 年	Pre-Lesson My Plans for This Year	新学期にあたり、今年の計画について考え、クラスメートと対話したり、インタビューしたりする。	
	前期 Lesson 1 A Colorful Island	ブラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について学習する。 （関係代名詞what）	
	Lesson 2 With the Beatles	世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。 （比較表現）	
	Lesson 3 Wild Men	「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について考える。 （itの用法）	
	後期 Lesson 4 Little Hero	ハチドリを紹介する記事とハチドリの物語を通して、不断の努力と不屈の心について考える。 （間接疑問文）	
	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習する。 （to不定詞を含む表現）	

4 学習の留意点

各考査の成績、ワークシートなどの提出物、発表、出席状況、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
家庭	家庭総合	2	2	普通	必修	未来へつなぐ家庭総合365(教育図書)

1 目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 評価の観点

知識・技能	自立した生活を営むためには、生涯を見通して、生活課題に対応した意思決定をし、責任をもって行動することが重要であることを理解させる。食生活を充実させ、向上するために必要な基礎的・基本的な知識と技術を身につける。被服管理に必要な基礎的・基本的な技術を身につける。
思考・判断・表現	人の一生、男女参画社会、家族、高齢者、食生活、消費生活等学ぶことにより自身のおかれた生活の課題に主体的に取り組めるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	高齢者の心身の特徴・生活を通し一家族のかかわり福祉看護に興味を持たせる。食は調理実習を通し栄養必要量を知る。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	衣生活と健康	・衣服と私たち ・衣服づくりの手順 ・環境にやさしい衣生活	・日本の伝統的な衣服 ・衣服の手入れ、保管 ・衣生活の未来
	住生活と住環境	・住まいってなんだ ・快適に暮らそう	・安全・安心に暮らそう ・持続可能な住まいへ
	生活における経済の計画	・家計と社会のかかわり ・家計と税金・社会保障費	・家計と経済計画
後期	消費生活と意思決定	・私たちの消費生活 ・消費者信用のしくみ ・消費者の権利と責任	・契約の重要性 ・消費者問題の現状と課題
	持続可能なライフスタイルと環境	・暮らしと環境問題 ・持続可能な消費	・社会の取り組み ・行動し、発信しよう
	生涯の生活設計2	・生活にヒントがある	・自分の生き方を設計しよう

4 学習の留意点

学習活動への参加状況(出席状況、学習態度、意見発表等)やファイルや課題の提出、実習時の態度と取り組む姿勢をもとに、総合的に判断する。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
情報	情報Ⅰ	2	2	普通	必修	情報Ⅰ Step Forward!(東京書籍)

1 目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

2 評価の観点

知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
主体的に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	情報社会	・情報やメディアとその特性について学ぶ。 ・コンピュータを使った情報の収集と分析について学ぶ。 ・コンピュータを使用する際の注意点(情報セキュリティ、情報モラルと個人の責任など)について学ぶ。 ・検索のコツ、仕事の研究、アイデアの構造化など問題解決をするための様々な方法を実践し、その力を身につける。	
	情報デザイン	・コミュニケーションとメディア、情報のデジタル化について学ぶ。 ・文字、音、画像のデジタル表現について学ぶ。 ・情報デザインやコンテンツ設計について学ぶ。 ・データ量の見積もり、図解表現、動画編集、Webページの編集など問題解決をするための様々な方法を実践し、その力を身につける。	
後期	プログラミング	・コンピュータの構成、処理の仕組みについて学ぶ。 ・プログラミングの仕組みを学び、基本的なプログラミングを習得する。 ・問題のモデル化、モデル化の活用、シミュレーション、シミュレーションの活用について学ぶ。 ・作図、動画の分析、表計算ソフトの活用、マイコンボードやPythonの活用など問題解決をするための様々な方法を実践し、その力を身につける。	
	ネットワークの活用	・情報通信ネットワーク、デジタル通信の仕組みについて学ぶ。 ・様々な情報システム、情報システムの信頼性について学ぶ。 ・データの活用とデータベース、データの管理、データの収集と種類、データの分析などについて学ぶ。 ・Webブラウザの利用、Webページの編集、プレゼンテーションソフトの活用など問題解決をするための様々な方法を実践し、その力を身につける。	

4 学習の留意点

コンピュータの基本操作や活用は習うより自分で操作して慣れることが重要なので、毎時間の授業出席し、地道に取り組む努力することが大切である。